

研究活動報告(アルファベット順)

2009年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名、(専門領域)、I.著訳書、II.学術論文、III.その他の著作(研究ノート、ニュースレター、報告書、雑誌、新聞等)、IV.学会発表、V.その他の発表(シンポジウム、講演、放送等)、VI.学会および公的な機関の委員、VII.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

智原 哲郎(ちはら・てつろう)〔言語テスト、英語教育〕

IV. 学会発表

- (1) 「スキル・トレーニングを超えた大学英語教育－大阪女学院大学 国際・英語学部 7つの特長」、大学英語教育学会全国大会 Poster Session, 於：札幌, 2009年9月6日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 初年次教育学会 理事 2009年9月まで

Cornwell, Steve (コーンウェル・スティーブ)〔Education, English Education, Curriculum Design〕

IV. 学会発表

- (1) “Managing a Writing Center: A Case Study of Osaka Jogakuin College”, JACET, 於：Sapporo, 2009年9月4日
- (2) “Language Education: An Insider’s View, Keynote Speaker, Asian Conference on Education”, 於：Osaka, 2009年10月24日
- (3) “The New School University: Developing Reflective Practitioners Through Online Teacher Education”, TESOL, 於：Denver, 2009年3月28日
- (4) “Reflective practice - The teacher as learner—Teacher Education Symposium”, JALT, 於：Shizuoka, 2009年11月21日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “How to Get Published”, Seoul National University, 於：Seoul, 2009年2月

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) JALT Co-Conference Chair for JALT2009 International Conference, Plan and Chair conference, 2009年11月21日～23日
- (2) The Language Teacher Editorial Advisory Board, Review manuscripts for publication, 2009年
- (3) The JALT Journal, Editorial Advisory Board, Review manuscripts for publication, 2009年

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) Writing Center Research, Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) Kaken grant, 2006-2009

夫 明美(ふ・あけみ)〔第二言語習得、中間言語語用論〕

I. 著訳書

- (1) 「タイ人日本語学習者による『けど』の習得について－モダリティ表現としての『けど』－」, 岸本秀樹(編)『ことばの対照』, くろしお出版, (pp.193-202), 2010年2月10日, 単著

Fujimoto, Donna (フジモト・ドナ) [TESL, Intercultural Education]

Ⅲ. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) "A Story that Had to be Told-Obaachan's Garden", SIETAR Japan Newsletter, Fall 2009, 単著
- (2) "Capitalizing the "P" in Pragmatics", ICIS Newsletter, Vol.7, No.2., July 2009, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) "Conversation Analysis and Language Pedagogy (Invited speaker)", TESOL, 於: Denver, CO, USA, 2009年3月25日
- (2) "Intercultural Communication Interest Section Academic Session; What Pragmatics Contributes to Intercultural Communication", TESOL Convention, 於: Denver, CO, USA, 2009年3月26日
- (3) "The Contrast Culture Method in Japan: Past, Present and Future", SIETAR Conference, Reitaku University, 於: Chiba-ken, 2009年9月27日
- (4) "Conversation Analysis and Small Group Discussion", JALT Conference, 於: Shizuoka, 2009年11月23日

Ⅴ. 学会および公的な機関の委員

- (1) Program Chair, SIETAR Kansai
- (2) Publicity Chair, Pragmatics Special Interest Group, JALT
- (3) Coordinator, Contrast Culture Method Special Interest Group, SIETAR
- (4) Coordinator, Nikkei Gathering

Hansen, Jerrod (ハンセン・ジェレッド) [Cultural Anthropology, esp Study abroad and Culture change]

Ⅳ. 学会発表

- (1) "Getting wet or staying dry: Immersion while abroad", JALT 2009 Annual Conference, 於: Shizuoka, Japan, 2009年11月

井上 文彦 (いのうえ・ふみひこ) [カウンセリング, ゲシュタルト療法, 心理教育]

Ⅰ. 著訳書

- (1) 「第2部ドリームワークセミナー5章ノーラ 6章メイ 7章マックス 8章マーク 9章ジム 10章ジュディ」, (F. Sパールズ著, 倉戸ヨシヤ監訳) 『ゲシュタルト療法パーベイティブ』, ナカニシヤ出版, (pp.125-179), 2009年6月1日, 共訳

Ⅳ. 学会発表

- (1) 「スーパーヴィジョンにおけるエンプティ・チェアの活用」, 日本人間性心理学会, 於: 法政大学, 2009年8月28日

Ⅴ. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「マイクロ・カウンセリングを取り入れたロールプレイ連続実習」, 於: 関西カウンセリングセンター, 2009年1月25日・2月1日
- (2) 「カウンセリング概論」, 関西いのちの電話, 於: 博愛社, 2009年5月14日
- (3) 「ゲシュタルト療法ワークショップ」, 日本ゲシュタルト療法研究所, 於: 高野山普賢院, 2009年7月31日~8月3日
- (4) 「グループ・カウンセリング(実習)」, 関西カウンセリングセンター, 於: 常翔学園大阪センター, 2009年12月14日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 関西いのちの電話 理事 2006年10月~

Johnston, Scott (ジョンストン・スコット) [Culture, International Programs, Writing Centers]

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) “Writing Centers in Japan and Asia”, *The Language Teacher*, Vol. 33 (6), p. 32-33, 2009年6月, 単著
- (2) “User’s Voice: Criterion at Osaka Jogakuin College”, *TOEFL Mail Magazine*, Vol. 77, 2009年5月, Interviewed with Bill Cline about Criterion usage at OJC.

IV. 学会発表

- (1) “Writing Centers and Tutoring in Japan and Asia (panel discussion leaders)”, JALT 2009 Conference, 於: Shiuzoka, Japan, 2009年11月21日 (With Hiroko Yoshida)
- (2) “Managing a Writing Center in Japan: A Case of Osaka Jogakuin College”, JACET 2009 Conference, 於: Sapporo, Japan, 2009年9月4日 (With Hiroko Yoshida and Steve Cornwell)
- (3) “Research on Writing Centers and OJC’s Writing Center”, Japan Writing Centers Colloquium, 於: University of Tokyo, Komaba Campus, 2009年2月17日 (With Hiroko Yoshida)

V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Research on Writing Centers in Japan: Focus on Osaka Jogakuin College.”, Osaka Jogakuin Faculty Presentation”, 2009年2月25日

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「大学ライティングセンターの構築と運営に関する研究EFLの視点から」 科学研究費補助金 基盤C (一般) 研究代表者 2007年4月～2010年3月

香川 孝三 (かがわ・こうぞう) [労働法, アジア法]

I. 著訳書

- (1) “2009 Employment Terms and Conditions in Asia/Pacific”, *Watson Wyatt Worldwide*, Hong Kong and Singapore, 2009年3月
- (2) 監修『兵庫県労働運動史——昭和40年代』(上・中・下), 兵庫県, 2009年3月

II. 学術論文

- (1) 「カンボジアの2008年人身売買禁止法と日本の協力」, 科研費研究成果報告書・松永宣明代表・基盤研究 (B), 『アジア市場経済諸国向け法整備支援の実証的研究』, 2009年6月
- (2) 「日本企業とアジアにおける労働CSR」, 『国際産研』28号, 2009年6月
- (3) 「児童労働——工場労働者としての子ども」, 初瀬龍平・松田哲・戸田真紀子『国際関係のなかの子ども』, お茶の水書房, 2009年7月
- (4) 「日独伊における少子高齢化対応にみるジェンダーと労働」, 富士谷あつ子・伊藤公雄編『日本・ドイツ・イタリア, 超少子高齢社会からの脱却——家族・社会, 文化とジェンダー政策』, 明石書店, 2009年8月
- (5) 「ベトナムにおけるジェンダーの視点から見る労働における格差」, 『日本ジェンダー研究』12号, 2009年9月
- (6) 「政尾藤吉の業績と現代の法整備支援事業との比較」, 『アジア法研究2009』, 2009年10月
- (7) 「アジア労働法研究から見えてくる日本」, 『法律時報』81巻12号, 2009年11月

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) Case Comment “X₁ and X₂ v. Nestle Japan Ltd.” (Supreme Court Second Petty Bench, 30 October 2006) *International Labour Law Reports*, vol. 27, 2009年1月
- (2) 「ベトナムにおける開発と人権」, 『国際人権ひろば』83号, 2009年1月
- (3) 「カンボジアのスタディーツアーについて」, 『カンボジア・スタディーツアー2008夏報告書』, 2009年2月
- (4) 判例評釈「人事評価による海外勤務者の降格・降給が無効とされた事例——国際観光振興機構

- 事件」東京地裁平成19年5月17日判決、『ジュリスト』1379号, 2009年6月
- (5) 巻頭言「中国の児童労働と日本」, 『労働法律旬報』1702号, 2009年8月
 - (6) 「ベトナムのストライキ問題」, 『IMF・JC』295号, 2009年8月
 - (7) 「政尾藤吉」, 日本タイ学会編『タイ辞典』めこん, 2009年9月
 - (8) 「竹をめぐる立法問題」, 『竹』109号, 2009年9月
 - (9) 「人材育成を貫いた40年」, 『IMF・JC労働リーダーシップコース40周年記念誌』, 2009年11月

IV. 学会発表

- (1) "Female Labour Compared between Japan and Mekong Regional Countries", International Conference on Culture and Labour in Mekong Regional Countries Considered from the Viewpoint of Gender Studies, 於: Kyoto University, sponsored by Japan Foundation, 2009年11月
- (2) "Legal Protection of Foreign workers in Japan", Asian Association of Labour Law, 於: National Taiwan University, Taipei, 2009年11月

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演「労働契約法」IMF・JC労働リーダーシップコース, 2009年1月
- (2) 講演 "Labour Policy to Promote Foreign Direct Investments", (Seminar to Promote Foreign Direct Investment, JICA委託研修事業) 財団法人比較法研究センター, 2009年2月
- (3) 報告「人事評価による海外勤務者の降格・降給が無効とされた事例—国際観光振興機構事件」東京地裁平成19年5月17日判決, 東京大学労働判例研究会, 2009年4月
- (4) 報告「竹をめぐる立法政策」, 竹文化振興協会総会, 京都, 2009年6月
- (5) 講演「法整備支援事業の多様性」, 神戸大学大学院国際協力研究科, 2009年11月
- (6) 報告「バングラデシュにおける船舶解体と児童労働」, 大阪女学院大学国際共生研究所研究会, 2009年12月

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本労使関係研究協会 常務理事
- (2) 日本ジェンダー学会 副代表
- (3) 日本労務学会 理事・学会誌編集委員長
- (4) アジア法学会 理事
- (5) 兵庫県労働運動史編纂委員会 委員長
- (6) IMF・JC労働リーダーシップコース 副校長・運営委員
- (7) NPO法人アジア・ボランティアセンター 副代表・理事
- (8) 京都生涯教育研究所 理事
- (9) 社団法人関西国際産業関係研究所 理事
- (10) 竹文化振興協会 理事
- (11) 宝ホールディングス株式会社 監査役
- (12) 宝酒造株式会社 監査役
- (13) Asia Association of Labour Law, Member of Executive Council

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「アセアン諸国における中小企業のグローバル化対応促進型制度構築の学際的研究」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・金子由芳神戸大学教授), 平成19~21年度
- (2) 「子どもの安全保障の国際学的研究—子どもの日常性回復をめざして」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・初瀬龍平京都女子大学教授), 平成21年12月11日19~21年度
- (3) 「東アジア諸国における労働法整備支援と労働契約法制の展開」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・藤川久昭青山学院大学教授), 平成20~22年度

梶原 直美(かじはら・なおみ)〔歴史神学(とくに古代キリスト教思想)〕

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1)「神戸のキリスト教—初期伝道とその背景—」, 『キリスト教学校教育』628号, 2009年11月15日, 単著

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) キリスト教学校教育同盟 大学部会関西地区委員 1998年4月より現在まで
- (2) キリスト教学校教育同盟 中央教研委員 2002年4月より現在まで
- (3) 全国大学チャプレン会 理事 2009年7月より現在まで

垣本 充(かきもと・みつる)〔予防医学, 食物学, 環境科学〕

Ⅱ. 学術論文

- (1)「ベジタリアンと菜食—歴史と類型—」, 『臨床栄養』114巻4号, 2009年4月, 単著
- (2)「モンゴルの菜食事情」, 『Food Journal』30巻1号, 2009年12月, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1)「タマネギ実生根端細胞を用いた小核試験」, 日本ベジタリアン学会第9回大会, 於: 東京グランドホテル, 2009年11月28日

Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1)「ベジタリアンの歴史と現状」, 日本ベジタリアン学会・菜食と健康セミナー, 於: 大阪国際会議場, 2009年8月7日
- (2)「日本ベジタリアン協会の活動」, 東京ベジフードフェスタ, 於: 代々木公園, 2009年10月17日
- (3)「ミートフリーマンデーを考える」, 日本ベジタリアン協会・大阪講演会, 於: サンケイホールブリーゼ, 2009年12月5日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本ベジタリアン学会 理事長
- (2) NPO法人日本ベジタリアン協会 代表理事
- (3) ベジタリアンジャーナル 編集長
- (4) (社) 環境情報科学センター 環境情報科学査読委員
- (5) International Vegetarian Union, U.K., Patron
- (6) Asia Vegetarian Union, Thailand, Director
- (7) Vegetarian Research, Honorary Editor
- (8) Journal of Environmental Information Science, Reviewing Committee

加藤 映子(かとう・えいこ)〔言語習得〕

Ⅱ. 学術論文

- (1) “Writing Development of A Bilingual Child: Japanese and English”, *University of Reading Proceedings of the Child Language Seminar 2007*, 2008
- (2)「外国人児童生徒の言語教育に関する一考察:言語共生のために」, 『大阪女学院大学紀要』第5号, 2009年3月

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1)「短期集中英語合宿が学習に及ぼす影響」, 『大阪女学院大学紀要』第5号, 2009年3月
- (2)「言葉を育てる絵本の読み聞かせからオリジナル絵本へ」, 『大阪市なにわっ子わくわく未来プログラム 就学前児童の健全育成に向けたプログラム報告書』, 2009年3月
- (3)「『絵本』言葉を育てるプログラム」, 『大阪市なにわっ子わくわく未来プログラム 就学前児童の健全育成に向けたプログラム報告書』, 2009年3月

- (4) 『大阪女学院大学・大阪女学院短期大学 学生の学習に関する意識・実態基本調査』2008調査報告書, 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学 学習サポート委員会, 2009年3月

IV. 学会発表

- (1) “Book Reading Styles in Japan and Taiwan: A Comparative Study SoLLs.INTEC.09 International Conference”, Universiti Kebangsaan Malaysia, 於: Palm Garden Hotel, 2009年5月6日
- (2) 「ダイアロジックリーディング トレーニング: Before & After」, 言語科学会 年次国際大会, 於: 東京電気大学, 2009年7月4日
- (3) 「子どもと作る絵本—手描き、コンピュータ、オンラインサービスを効果的に使う」, PC Conference, 2009年8月9日
- (4) 「スキルトレーニングを超えた大学英语教育」, JACET全国大会, 於: 北海学園大学

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「英語力をどう育てるか」, 読売新聞大阪本社 大学関西フォーラム第14回懇話会 パネリスト, 於: クラブ関西, 2009年9月25日
- (2) 10 minutes プレゼン「子どもと作る絵本」, 特定非営利活動団体MOSA, 於 札幌 北海道立道民活動センター, 2009年1月25日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 言語科学会 運営委員

黒澤 満(くろさわ・みつる) [国際法, 国際関係論]

I. 著訳書

- (1) 「現在の国際安全保障環境と核軍縮」, 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター『核軍縮を巡る新たな動向』, (pp.35-44), 2009年3月, 単著
- (2) “A Golden Opportunity for Nuclear Disarmament”, in Japan-US International Workshop, *Reducing Threats Posed by Nuclear Weapons: Possible Cooperation between Japan and the United States*, (pp.5-14), 2009年6月, 単著

II. 学術論文

- (1) “NPT Review Process and Nuclear Disarmament”, 『大阪女学院大学紀要』第5号, (pp.65-85), 2009年3月, 単著
- (2) 「オバマ政権の核軍縮・核不拡散政策」, 『阪大法学』第59巻2号, (pp.95-117), 2009年7月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「米印原子力協力協定」, 『法学教室』No.340, 2009年1月, 単著, 2-3頁
- (2) 「軍縮/平和」, 『imidase Library (2009)』集英社, 2009年2月, 単著
- (3) 「核軍縮に関する国際情勢(14):北朝鮮の核問題」, 『平和の風』第14号, 単著, 5-8頁
- (4) 「核廃絶戦略 テロ利用の芽を摘む」, 『毎日新聞』, 2009年4月6日, 単著
- (5) 「国際連携で核放棄を」, 『朝日新聞』, 2009年5月26日, 単著
- (6) 「核廃絶への流れが出てきた」, 『しんぶん赤旗』, 2009年6月28日, 単著
- (7) 「米安全保障が主眼、オバマ理念より現実」, 『中国新聞』, 2009年6月28日, 単著
- (8) 「今平和を語る 核ゼロオバマ宣言を具現しよう」, 『毎日新聞』, 2009年6月29日, 単著
- (9) 「米、多国主義に転換」, 『毎日新聞』, 2009年7月10日, 単著
- (10) 「核軍縮への挑戦と展望-日本軍縮学会設立に際して-」, 『聖教新聞』, 2009年7月12日, 単著
- (11) 「核軍縮に関する国際情勢(15):オバマ政権の核軍縮政策」, 『平和の風』第15号, 単著, 8-12頁
- (12) 「軍縮と安全保障のはざままで」, 『外交フォーラム』243号, 2009年8月, 20-29頁
- (13) “Japan’s Nuclear Disarmament Policy”, *AJISS-Commentary*, 2009年8月5日, 単著

- (14) "Declaration Praised for Clear Vision on Nuclear Policies", *Daily Yomiuri*, 2009年8月4日, 単著
- (15) 「抑止力決別の意思示せ」, 『中国新聞』, 2009年9月9日, 単著
- (16) 「五大国の合意 深い意味」, 『神戸新聞』, 2009年9月25日, 単著
- (17) 「ノーベル委、期待」, 『朝日新聞』, 2009年10月10日, 単著
- (18) 「国際協調を重視」, 『毎日新聞』, 2009年10月16日夕刊, 単著
- (19) 「核兵器全廃に向けた世界が動き出した」, 『日本の進路、世界の行方』集英社, 2009年11月, 単著, 96-97頁
- (20) 「核兵器のない世界に向けて」, 『公明新聞』, 2009年12月29日, 単著

IV. 学会発表

- (1) "A Golden Opportunity for Nuclear Disarmament", Japan-US International Workshop, 於：Tokyo, 2009年1月23日
- (2) 「軍縮における国際機構の役割」, 関西国際機構研究会, 於：京都, 2009年6月6日
- (3) "Toward 2010 NPT Review Conference", Council for Security Cooperation in the Asia Pacific: 9th Meeting on CSCAP on Countering the Proliferation of Weapons of Mass Destruction in the Asia Pacific, 於：Beijing, China, 2009年6月28日
- (4) "Nuclear Policy of Japan's New Government", Council for Security Cooperation in the Asia Pacific: 10th Meeting of CSCAP on Countering the Proliferation of Weapons of Mass Destruction in the Asia Pacific, 於：Hanoi, Vietnam, 2009年12月7日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「北朝鮮の核問題の現状」, IPPNW日本支部移動理事会, 於：大阪, 2009年1月17日
- (2) 「核軍縮・核不拡散の現状」, 第18回長崎市平和推進専門会議, 於：大阪, 2009年1月22日
- (3) 「核不拡散を巡る最近の動向-米国オバマ新政権の核不拡散政策を中心に-」, 核物質管理センター, 於：東京, 2009年3月27日
- (4) 「米ロ首脳会談」, NHKラジオ第一放送, NHKジャーナル, 2009年4月2日
- (5) 「核軍縮の歴史と展望」, 核廃絶・平和中央集会, 於：東京, 2009年5月29日
- (6) "Asian Voices #9, Nuclear Proliferation Menace", NHK World, 於：東京, 2009年6月28日
- (7) 「第2回米ロ首脳会談」, NHKラジオ第一放送, NHKジャーナル, 2009年7月6日
- (8) 「北朝鮮の核問題と核兵器のない世界」, 芦屋市公民館講座, 於：芦屋, 2009年7月11日
- (9) 「核廃絶に向けての取り組み、不拡散体制の新たな進展」, 外務省国際情報室研究会, 於：東京, 2009年7月17日
- (10) 「日本の、これから『核』」, NHK総合テレビ, 於：東京, 2009年8月15日
- (11) 「核軍縮・核不拡散」, 日本国際問題研究所、軍縮・不拡散問題講座, 於：東京, 2009年9月16日
- (12) 「オバマ政権の核軍縮・核不拡散政策」, 朝日新聞研究会, 於：大阪, 2009年9月25日
- (13) 「オバマ大統領のノーベル平和賞受賞」, NHKラジオ第一放送, NHKジャーナル, 2009年10月9日
- (14) 「オバマ大統領の核軍縮・核不拡散政策の背景」, 大阪女学院大学平和・人権研究会, 2009年10月16日
- (15) 「今、平和を語る 核兵器廃絶に向けて」, 2009年国連軍縮週間のつどい, 於：大阪, 2009年10月30日
- (16) 「米国の核戦略と世界の核保有国の動向」, 国際情勢研究会, 於：東京, 2009年11月6日
- (17) 「核兵器のない世界に向けて」, 第20回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師、医学生をつどいin鹿児島, 於：鹿児島, 2009年11月21日
- (18) 「核兵器のない世界を求める新たな変化と展望」, シンポジウム「鳩山政権下、非核日本への

道を探る」, 於: 東京, 2009年12月4日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本軍縮学会 会長 2009年4月より
- (2) 世界法学会 理事
- (3) 核物質管理センター 理事
- (4) 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター 客員研究員
- (5) 長崎市平和推進専門会議 委員
- (6) Editorial Board of the Nonproliferation Review, member
- (7) 核戦争防止医師会議大阪府支部 特別顧問

馬淵 仁(まぶち・ひとし) [多文化共生論, 異文化間教育]

II. 学術論文

- (1) 「多文化共生社会をめざして—3つの領域からのアプローチとその課題—」, 『異文化間教育』30号, 2009年7月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「多文化共生は可能か?—移民社会と異文化間教育—」, 異文化間教育学会(特定課題研究/コーディネーター), 於: 東京学芸大学, 2009年5月30日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「多文化・異文化リテラシーにおける『文化』のとらえ方」, 大阪女学院大学・学内研究会, 於: 大阪女学院大学, 2009年4月24日
- (2) 「異文化理解の落とし穴」, 関西生命線, 於: 大阪聖パウロ教会, 2009年8月19日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 異文化間教育学会 理事
- (2) 日本国際文化学会 常任理事・紀要編集委員
- (3) オセアニア教育学会 紀要編集委員

前田 美子(まえだ・みつこ) [比較・国際教育学, 開発教育]

I. 著訳書

- (1) “Japanese Technical Cooperation to Enhance Teacher Quality in Developing Countries: A Multiple Case Study in Afghanistan, Bangladesh, and Cambodia”, In Tatto, M. T. and Mincu, M. (Eds.), *Reforming Teaching and Learning: Comparative Perspectives in a Global Era*, Sense Publishers, pp. 113-126, 2009年12月, 共著

II. 学術論文

- (1) “Education and cultural hybridity: what cultural values should be imparted to students in Kenya?”, *Compare: A Journal of Comparative Education*, 39 (3), p. 333-346, 2009年5月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「日本におけるアフリカのイメージ: 中学生を対象とした調査から」, 日本アフリカ学会, 於: 東京農業大学, 2009年5月23日
- (2) 「カンボジアの教員を取り巻く問題点」, 国際教育発展・協力研究会春季例会, 於: 京都女子大学, 2009年6月13日
- (3) 「教員の力量形成を目的とするJICAプロジェクトの比較」, 日本比較教育学会第45回大会, 於: 東京学芸大学, 2009年6月27日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演「途上国の教育」, 親和女子高等学校・親和中学校汲温会, 於: 宝塚ホテル, 2009年5月30日

Ⅶ. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「教員の不正行為に関する研究—カンボジアを事例として」, 科学研究費補助金 基盤研究C 研究代表者, 平成21～23年度

McCarty, Steve (マッカーティ・スティーブ) [Bilingualism, e-Learning, Japan]

I. 著訳書

- (1) “Mailing Lists.”, In S. Mishra (Ed.), *E-Learning*. Indira Gandhi National Open University, Staff Training and Research Institute of Distance Education (New Delhi, India), pp. 56-59, 2009年12月, 単著
- (2) “Making Mobile Phone Websites”, In M. Thomas (Ed.), *New Frontiers in CALL: Negotiating Diversity*, JALT CALL SIG, pp. 65-70, 2009年9月, 単著
- (3) “Curtain CALL: Online Performances for Integrative Motivation”, In M. Thomas (Ed.), *New Frontiers in CALL: Negotiating Diversity*, JALT CALL SIG, pp. 71-76, 2009年9月, 単著

II. 学術論文

- (1) “What it Means to be Bicultural”, 『チャイルド・リサーチ・ネット』, 2009年2月, 単著

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) “Autonomy for Higher Education”, *The Japan Times*, 2009年10月15日, 単著

V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Japanese People and Society”, 国際協力機構 JICA, 於: Osaka, 2009年9月2日他

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) World Association for Online Education 名誉会長 2007年—現在に至る
- (2) Asia-Pacific Association for Computer-Assisted Language Learning 広報委員 2007年—現在に至る
- (3) ベネッセ コーポレーション Worldwide Kids English メン監修 2006年—現在に至る
- (4) Child Research Net, Advisory Board Member, 2001年—現在に至る

元 百合子 (もと・ゆりこ) [国際人権法・国際関係学]

II. 学術論文

- (1) 「宗教的人権の国際的保障」, 『大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター年報』, 2009年3月, 単著

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「大学の教育課程として重要なアイヌ民族の権利についての理解を深める (全国大学童話教育研究協議会 春季シンポジウム記録)」, 『部落解放と大学教育』, 2009年7月, 共著

IV. 学会発表

- (1) 「イスラエル・パレスチナ問題—国際法の視点から」, 群体ボルボックス・新世界フォーラム, 於: ニュージャパンビル (大阪), 2009年6月13日
- (2) 「日本軍性奴隷制度における複合差別」, 女性・戦争・人権学会, 於: 立命館大学, 2009年6月21日
- (3) 「マイノリティの民族教育権」, 国際人権法学会, 於: 甲南大学, 2009年11月14日
- (4) 「宗教と人権」, 大阪女学院大学国際共生研究所 平和・人権研究会, 於: 大阪女学院大学, 2009年11月18日
- (5) 「日本軍性奴隷制度と複合差別」, 東北アジア平和構想研究会, 於: 関西学院大学, 2009年11月28日
- (6) 「マイノリティ女性に対する複合差別と国際人権法」, ジェンダー法学会, 於: 神奈川大学, 2009年12月6日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1)「マイノリティの民族教育権」, 京都自由大学, 於: エスベラント会館, 2009年1月10日
- (2)「マイノリティ女性に対する複合差別」, 大阪女学院大学主催シンポジウム「女性の人権」, 於: ホテル・ニューオータニ, 2009年10月21日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 反差別国際運動日本委員会 企画運営委員

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1)「マイノリティ女性に対する複合差別に関する政策と制度の比較研究」, 科学研究費補助金(研究代表者), 2008年4月～2010年3月
- (2)「アジア・太平洋地域の大学院「人権プログラム」の学際的調査・研究」, 科学研究費補助金(グループ研究), 2008年4月～2010年3月

中井 弘一(なかい・ひろかず) [英語授業実践学]

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1)「大阪女学院大学・大阪女学院短期大学 学生の学習に関する意識・実態基本調査 2008 調査報告書」, 平成21年2月4日, 共著(主担)

IV. 学会発表

- (1)「スキルトレーニングを超えた大学英語教育 大阪女学院大学 国際・英語学部 7つの特長」, JACET全国大会ポスターセッション, 於: 北海学園大学, 2009年9月6日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1)「論理的な話し方1」, 兵庫県立姫路飾西高等学校, 2009年6月26日
- (2)「論理的な話し方」, 兵庫県立三木高等学校, 2009年7月16日
- (3)「論理的な話し方—効果的なプレゼンテーション」, 大阪市教育委員会, 平成20年度大阪市事務職員1次研修, 2009年7月29日、8月12日
- (4)「論理的な話し方2」, 兵庫県立姫路飾西高等学校, 平成21年11月27日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大阪府立泉陽高等学校「文科省英語教育改善のための調査研究事業」 運営指導委員 平成21年4月～平成22年3月

奥本 京子(おくもと・きょうこ) [文学, 平和学, 紛争転換(非暴力介入), 平和ワークにおける芸術アプローチ]

I. 著訳書

- (1)「<平和家>としての芸術家」, (編著: 君島東彦)『平和学を学ぶ人のために』, 世界思想社, (pp.109-128), 2009年7月20日, 単著
- (2) “Using an Art Form for Mutual Understanding and Reconciliation in East Asia; A Drama Project, ‘Ho’ o Pono Pono: Pax Pacifica’”, (Ed by Sue Jennings) *Dramatherapy and Social Theatre: Necessary Dialogues*, Routledge, (pp. 183-192), 2009, 単著

II. 学術論文

- (1)『「トランセンド・グローバル・ミーティング: 21世紀の平和構築」参加報告』, 『トランセンド研究: 平和的手段による紛争の転換』, 第7巻第1号, 2009年6月, 共著
- (2)「ピースおおさかでの大規模ワークショップ報告: 平和創造の方法を共に考えるワークショップ—子ども達に平和をどう伝えるか—」, 『トランセンド研究: 平和的手段による紛争の転換』, 第7巻第1号, 2009年6月, 単著
- (3)「非暴力平和隊・日本との交流会:<非暴力介入>を掲げるNGOの集い」, 『トランセンド研究: 平和的手段による紛争の転換』, 第7巻第1号, 2009年6月, 単著

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) "Art and Peace (abstract of the dialogue session)" with Hiroshi Senju and Chang-dong Lee, facilitated by Kyoko Okumoto, *Proceedings of The 6th International Conference of Museums for Peace*, 2009年2月, (報告書)
- (2) 「トランセンド・日本との交流会:<非暴力介入>を掲げるNGOの集い」, 『非暴力平和隊・日本(NPJ) ニュースレター』第28号, 2009年4月24日
- (3) 「東北アジア地域の平和創造—具体的なトレーニング開始への期待—」, 『岡本非暴力平和研究所ニュースレター「非核・非暴力・いのち・平和—THE HIROSHIMA WAY」』Vol.3, No.1 (7), 2009年5月15日
- (4) "Conflict Transformation in North East Asia and the Meaning of 'Apology': Examples from Japanese Theatre Experiments", *Asian Perspectives on Peacebuilding-Learning from Experience*, 2009年5月, 単著
- (5) 担当項目「ガルトウング」、「暴力」, 『キリスト教平和学事典』(編集: 関西学院大学キリスト教と文化研究センター、出版社: 教文館), 2009年9月25日, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) "Conflict Transformation in Japan and North East Asia", 国際トランセンド・ネットワーク, 於: カンボジア・プノンペン, CPCS事務所会議室, 2009年5月6日
- (2) 「東北アジアにおける平和共同体創造実現にむけて: 芸術アプローチ導入と、「朗読劇プロジェクト」の提案」, 大阪女学院大学 第6回平和・人権研究会, 於: 大阪女学院大学, 2009年6月26日
- (3) 「東北アジアにおける「和解」の実現にむけて: 芸術アプローチの提案と、「朗読劇プロジェクト」の課題」, 東北アジア平和構想研究会, 於: 関西学院大学大阪梅田キャンパス, 2009年7月25日
- (4) "Japan's Alternative Diplomacy in Track II (CSOs/NGOs) Through the Perspectives of Achieving "Reconciliation" in North East Asia: Introducing A Drama Project, 'Ho' o Pono Pono: Pax Pacifica'", Nordic Peace Academy, TRANSCEND-Nordic, 於: Jondal School in Jondal Municipality, Jondal, Norway (体調不良欠席のため、論文提出をもって口頭発表に替える), 2009年8月6日
- (5) "The Crossroads of History Education and Peace Education: Examined through Conflict Transformation Methods", The International NGO History Forum for Peace in East Asia, Northeast Asian History Foundation, Ministry of Education, Science and Technology, Ministry of Foreign Affairs and Trade, Samsung, SK, 於: Long-life Education Center of Duksung Women's University, 2009年8月21日
- (6) "Peace Creation Networking Workshop for the Conflict of North-East Asia", APPRA (Asia-Pacific Peace Research Association), 於: College of Indigenous Studies, National Dong Hwa University, Shou Feng, Hualien, Taiwan, 2009年9月10日
- (7) 「『平和ワーク』における芸術アプローチ」, 平和教育学研究会、平和と芸術研究会, 於: 東京女子大学, 2009年12月19日

Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「ピースセミナー: 平和創造の方法を共に考えるワークショップ—子どもたちに平和をどう伝えるか—」, 大阪国際平和センター(ピースおおさか), 於: 大阪国際平和センター(ピースおおさか), 2009年2月8日
- (2) 「ファシリテーター・チャレンジ講座」, 大阪府政策企画部人権室, 於: ドーンセンター, 2009年2月10日
- (3) 「NPJとトランセンド研究会の交流会」, NPJ(非暴力平和隊・日本), トランセンド研究会, 於:

大阪女学院大学501号室, 2009年3月23日

- (4) 「第2回 憲法 連続講座」紛争転換ワークショップ, 兵庫県弁護士9条の会, 於: 神戸産業振興センター, 2009年5月30日
- (5) “Peace Studies”, 神戸女学院大学, 於: 神戸女学院大学, 2009年6月17日
- (6) 「文学と平和」, 東北芸術工科大学, 於: 東北芸術工科大学, 2009年7月9日
- (7) 「紛争転換ワークショップ」, 東北芸術工科大学, 於: 東北芸術工科大学, 2009年7月16日
- (8) 「対立・争いを協働へと転換する発想と方法—身近な紛争とどう向き合っていくか—」, 兵庫県私立中学高等学校連合会、中堅教員研修会, 於: シーサイドホテル舞子ビラ神戸, 2009年7月28日
- (9) “Peacebuilding in East Asia through Nonviolent Engagement: Two examples of NGO: methods, theories and practices of Nonviolent Intervention (as Special Remark 2)”, Center for Peace and Public Integrity at Hanshin University, ARI (Asia Regional Initiative), Naarm, 於: School of Adult Continuing Education, Duksung Women’s University, 2009年8月22日
- (10) “Art and Peacebuilding Workshop: Peace Education through Art”, Korea Anabaptist Center, Nonviolent Peaceforce Corea, Women Making Peace Conflict Resolution Center, the Frontiers, Civil Network for Practicing Human Right, 2009年8月25日
- (11) 「平和学のすすめ～アサーション、そしてトランセンドへ～」, 徳島県高等学校人権教育研究会中部支部, 於: 徳島県立障害者交流プラザ, 2009年12月9日
- (12) 「文学と平和」, 東北芸術工科大学, 場所: 東北芸術工科大学, 2009年12月17日
- (13) “TPU”, 国際トランセンド・ネットワーク, 於: カンボジア・プノンペン、CPCS事務所会議室, 2009年5月7日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国際トランセンド コンピーナー (東北アジア地域代表) 2006年 現在に至る
- (2) トランセンド (平和的手段による紛争転換) 研究会 会長 2008年11月24日 現在に至る
- (3) 非暴力平和隊・日本 理事 現在に至る 2005年3月13日
- (4) 日本平和学会 平和と芸術分科会設立・責任者 現在に至る 2005年6月4日
- (5) 財団法人大阪国際平和センター (ピースおおさか)
企画運営委員 (展示専門部会) 2007年4月1日～2009年3月31日
同上 2009年4月1日～2011年3月31日
- (6) 財団法人大阪国際平和センター (ピースおおさか)
運営協力懇談会委員 2007年8月12日～2009年8月11日
同上 2009年8月12日～2011年8月11日
- (7) 日本平和学会第18期企画委員会委員 2008年1月～2010年
- (8) 日本平和学会 分科会責任者連絡会議 副世話人 2009年6月～2011年6月
- (9) NARPI (Northeast Asia Peace Research Institute)
運営委員会 (Steering Committee) 委員 2009年 現在に至る

関根 聡 (せきね・あきら) [社会学・家族社会学・福祉社会学・ジェンダー論]

II. 学術論文

- (1) 「高齢者介護という家族役割」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢』10号, 2009年3月, 単著
- (2) 「障害者福祉における家族の再組織化」, 『近畿大学人権問題研究所紀要』23号, 2009年3月, 単著

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 高槻市男女共同参画審議会 委員 2009年11月～2011年11月

- (2) 大阪市男女共同参画審議会 委員 2009年8月～2011年8月
- (3) 八尾市男女共同参画推進にかかる条例検討委員会 副座長 2009年6月～2010年3月
- (4) 高槻市男女共同参画センター 男性セミナー企画運営委員会 委員長 2009年4月～2010年3月
- (5) 学校法人池田五月山教会学園 評議員 2008年4月～2012年3月
- (6) 東大阪市社会福祉協議会:福祉と人権 推進委員会 オブザーバー 2005年11月～

関根 秀和 (せきね・ひでかず) [高等教育論, 社会学]

I. 著訳書

- (1) 『国際共生研究所叢書1「国際社会への日本教育の新次元 今、知らなければならないこと」』, 東信堂, 2009年10月15日, 編著

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「短期『大学』としての大学文化の形成を支援する」, 『カレッジマネジメント』150号, pp.20-23, 2008年5月～6月
- (2) 「短期大学の認証評価－自己組織性の形成を支援する」, 『IDE現代の高等教育』504号, pp.59-62, 2008年10月号

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 『『教育的』と言うこと－キリスト教の基盤に立ちつつ－』, 関西学院大学教育学部開設記念講演会, 於:兵庫 西宮 関西学院大学中央講堂, 2009年6月6日
- (2) シンポジウムコメンテーター, 大学教育学会課題研究集会, 於:大阪 御堂会館, 2009年11月28日
- (3) 「学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)に関する意見提出」中央教育審議会大学分科会制度・教育部会, 2008年5月10日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大学教育学会 常任理事
- (2) 近畿都市学会 評議員
- (3) キリスト教文化学会 理事
- (4) 大学設置・学校法人審議会運営委員会委員・大学設置分科会 特別委員
- (5) 大学評価・学位授与機構評議員・短期大学評価委員会 委員
- (6) 国立大学法人評価委員会 専門委員
- (7) 私立大学等経常費補助金特別補助検討委員会 委員
- (8) 私学研修福祉会私立大学の教育・研究充実に関する研究会運営委員会 運営委員
- (9) 短期大学基準協会 副理事長・第三者評価委員会委員長
- (10) 日本私立短期大学協会 副会長
- (11) 大阪私立短期大学協会 会長
- (12) 大阪府男女共同参画財団 理事

Swenson, Tamara (スウェンソン・タマラ) [Communication, media studies, English education]

I. 著訳書

- (1) “Maintaining an Imaginary, Creating Myths: An Examination of Japanese Self-Portrayal in Export Media. University of Colorado Graduate School”, *School of Journalism & Mass Communication*, Ph.D. dissertation, 2009年12月, 単著

IV. 学会発表

- (1) “A Revised Ethnocentrism Scale”, Japan Association for Language Teaching (JALT) International Conference, 於: Shizuoka, Japan, 2009年11月22日

- (2) “Elementary English: Parents’ & Teachers’ Views”, Japan Association for Language Teaching (JALT) International Conference, 於 : Shizuoka, Japan, 2009年11月23日

Teaman, Brian (ティーマン・ブライアン) [Linguistics, Phonetics, Computer Assisted Language Learning]

IV. 学会発表

- (1) “A Placement Test for Spoken Language Using MASLE (Machine-Aided Spoken Language Evaluation)” 4th International Wireless Ready Symposium, 於 : 名古屋, 2009年2月21日
- (2) “Software Demonstration: MASLE (Machine-Aided Spoken Language Evaluation)” IASTED International Conference on Web-Based Education, 於 : Phuket, Thailand, 2009年3月16日～18日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “How Machine Aided Spoken Language Evaluation (MASLE) can revolutionize speaking practice, testing and research” invited presentation at the National Institute of Education, English Language and Literature, 於 : Singapore, 2009年3月11日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) Toyota City, Foreign Citizen’s Council Representative, June 2009-Present
- (2) JALT Computer Assisted Language Learning SIG, Program Director, November 2009-Present
- (3) JALT Global Issues in Language Education, Web Co-Director, November 2009-Present

東條 加寿子(とうじょう・かずこ) [英語教育, e-Learning]

II. 学術論文

- (1) 「工学研究科における米国夏期研修の取組み：グローバル社会で活躍できるサイエンティストの育成」, 『大阪大学留学生センター研究論集 多文化社会と留学生交流』第13号, 2009年3月, 共著
- (2) 「理工系大学院生のe-Learning学習行動－500人規模授業科目の検証－」, 『e-Learning教育研究』第4巻, 2009年12月, 共著

IV. 学会発表

- (1) “Research journal paper writing via genre-based analysis: Learning how to communicate effectively in a global scientific community”, JACET 48th Annual Convention, 於 : Hokkaido, 2009年9月5日

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「理工系口頭発表コーパスに基づいた専門日本語・英語の教育法の開発」, 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C(研究分担者), 2009年4月～2012年3月

Verity, Deryn (ベリティ・デリン) [English, ELT]

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) “Intersubjectivity and the Writer: Turning a Class Paper into a Journal Article”, *Osaka Jogakuin College Kiyo*, 2009

IV. 学会発表

- (1) “*The online dialogue: Beyond borders, beyond expectations*”, Invited plenary lecture, PanSIG Conference, Japan Association for Language Teaching, Toyo Gakuen University, 於 : Chiba, Japan.

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) Japan Association for Language Teaching. Co-chair, annual international conference, November 20-24, 2009
- (2) JALT Teacher Education Special Interest Group, co-coordinator, from November 24, 2009

山田 一美(やまだ・かずみ)〔第二言語習得, 外国語教育, 統語論〕

II. 学術論文

- (1) “The Acquisition of Null Subjects and Null Objects in Japanese: A Preliminary Investigation”, 『大阪女学院短期大学紀要』 38号(2008), 2009年3月, 単著
- (2) “Acquisition of zero pronouns in discourse by Korean and English learners of L2 Japanese. In Proceedings of the 10th Generative Approaches to Second Language Acquisition Conference (GASLA 2009)”, ed. Melissa Bowles et al., 60-68. Somerville, MA: Cascadia Proceedings Project. 2009年11月, 単著
- (3) “Do L2 Speakers' Problems Originate in Syntax or Syntax-Discourse Interface?-Importance of the Study of Acquisition of Pronouns by English Speakers of L2 Japanese” 転載『英語学論説資料』 第41第6分冊(緒論・英語教育)(2007年分) 論説資料保存会, 単著

IV. 学会発表

- (1) “Acquisition of zero pronouns in discourse by Korean and English learners of L2 Japanese”, 10th Generative Approaches to Second Language Acquisition Conference (GASLA10), 於: University of Illinois at Urbana-Champaign, USA, 2009年3月14日
- (2) 「主語、目的語位置に見られるゼロ代名詞使用の非対称性」, JSAA-ICJLE 2009豪州日本研究大会・日本語教育国際研究大会, 於: University of New South Wales, Australia, 2009年7月15日
- (3) “Acquisition of Word Order in Contexts by Child L1 Japanese-L2 English: Left Branch Effects or Specificity Effects?”, The 4th International Conference on Formal Linguistics, 於: Beijing Foreign Studies University, China, 2009年7月20日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演会「生成文法を枠組みとした第二言語習得研究」, 於: 関西学院大学理工学部, 2009年7月10日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本第二言語習得学会 監査委員 2007~2009

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「日本人児童による英語の名詞句の解釈、及び語順の習得」 第4回博報 ことばと教育 研究助成事業(研究助成部門)(研究代表者) 2008年4月~2010年3月